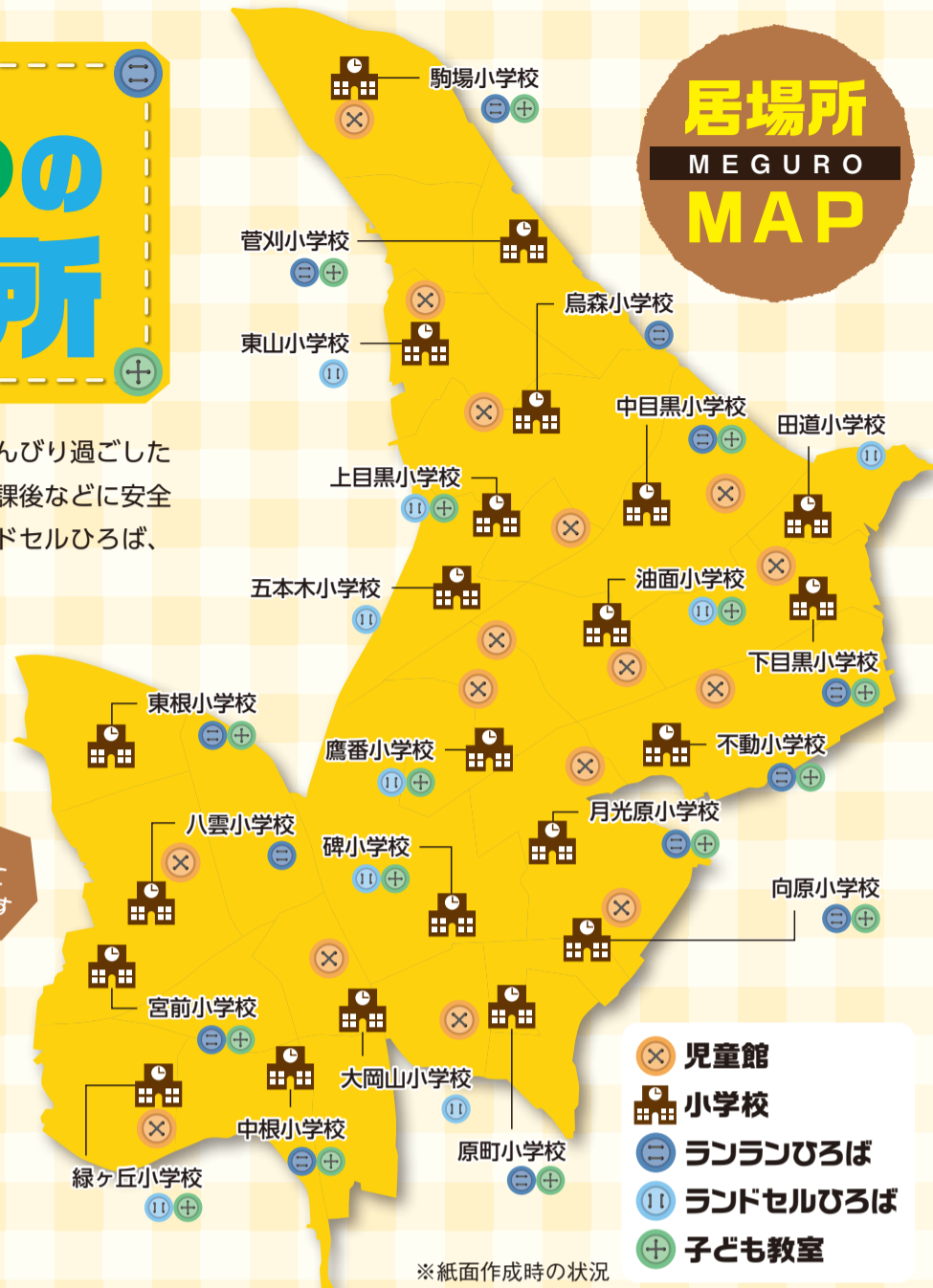


今日の放課後、どこ行こっか?

めぐろの子ども居場所

友だちと思いきり遊びたい、好きなことに熱中したい、ひとりでのんびり過ごしたい。放課後の子どもたちの過ごし方はさまざま。区内には、小学生が放課後などに安全・安心で楽しく過ごせる居場所として、児童館、ランランひろば、ランドセルひろば、子ども教室があります。今号は、それぞれの居場所の魅力を紹介しします。

わたしたちがレポートします!
小学生がリポーターになって、子どもの居場所の楽しさを聞いてくれました。



※紙面作成時の状況

児童館 年齢が違う子どもたちが一緒に遊んで仲良くなれる

地域の子どもの居場所として、18歳までの子どもが自由に使うことができる施設です。思いきり体を動かせるプレイルーム、さまざまな材料や道具を使って自由に木工・工作ができる図工室、漫画なども読める図書室、遊具やゲーム等で遊べる遊戯室等の部屋があります。また児童館ごとに、独自の工夫を凝らした夏休みの特別工作、地域住民や子どもたちが企画するイベントなどもあります。児童館の魅力の一つは、幼児から高校生までさまざまな年齢の子どもたちが、一緒に遊んで自然と仲良くなり、学校などとは違うコミュニティが育まれること。現在、区内16カ所にあります。詳細は区庁(コード①)をご覧ください。

- 5年度に、2カ所の新しい児童館が開設する予定です(いずれも仮称)
- ・碑文区センター児童館
- ・東根住区センター児童館

子育て支援課児童館係 ☎5722-6831、☎5722-9328



撮影時は、コマ回しやドッジボール、工作など、思い思いの部屋で遊んでいました

ランランひろば

放課後も学校に残って、そのまま遊べる

放課後や夏休みに、一時的に使われていない小学校の施設を活用して、友だちとスポーツを楽しんだり、宿題や読書をしたり、工作やボードゲームなどをして遊んだりする居場所を提供しています。学校が終わった後も家に帰らずに、慣れ親しんだ学校の中で友だちと思う存分遊ぶことができ、雨の日などでも天候に左右されずに、体育館や校内の特別教室で過ごすことができます。専任の運営職員が見守っているため、子どもにとっても保護者にとっても、安全で安心な居場所です。

4月から5校増え、現在13校で実施しています。利用対象は主に実施小学校の児童で、事前に利用登録が必要です。詳細は区庁(コード②)をご覧ください。

図放課後子ども対策課放課後子ども事業係 ☎5722-9029、☎5722-9328

ランドセルひろば

放課後、校庭で遊ぶことができるランドセルひろば(夏休みなどは休止)は、主に実施小学校の児童を対象に、現在9校で実施しています。詳細は区庁(コード③)をご覧ください。

図生涯学習課青少年・地域教育支援係 ☎5722-9279、☎3715-3099



どんな遊びをしていますか?

バスケットが好きだから、校庭でよくシュート練習しています

宮前小学校でインタビューしました

友だちと一緒に竹馬や輪車も遊んでいます

工作ウイーク(※)が大好き! ※月替わりのテーマ工作

子ども教室

体験を通して子どもの興味・関心を育む

地域の人材などを活用してさまざまな教室を実施し、文化、スポーツ等の体験ができる機会と、安全・安心に過ごすことができる居場所を提供します。小学校施設などで、放課後や学校休業日等に各団体が工夫を凝らした教室を実施しています。参加は事前申し込みが必要です。今年度は、17の運営団体が実施します。詳細は区庁(コード④)、学校で配布されるチラシをご覧ください。

図生涯学習課青少年・地域教育支援係 ☎5722-9279、☎3715-3099



おすすめの教室は何ですか?

子ども教室「みどり」でインタビューしました

いろいろなテーマの教室があって、どれも楽しんでいます

撮影時は、ボックスカードを作りました

インタビュー

Dendo Children School

大野祐希さん(左)
松原裕子さん(右)



代表を務める大野さんは、「田道小学校に子ども教室がなかったため、以前PTA役員を務めていた頃に子ども教室をやってもらえないかという話もありました。でも一から始めるにはハードルが高く、難しいなと思っていました。昨年、子ども教室を立ち上げる話があると誘われ、すぐに快諾しました」。メンバーの一人である松原さんは「私の子どもは在校児童ではありませんが、地域の子どものために何かできたらという思いがあり、区役所に相談したことがきっかけで携わることになりました」。

地域の子どもたちに多様な体験を

田道小学校を拠点として、今年度からスタートするDendo Children School(デンドウ・チルドレン・スクール)。運営メンバーの2人に、子ども教室を立ち上げに至るいきさつや思いを伺いました。

立ち上げメンバーは5人。「子どもたちに楽しんでほしいというのが、メンバー共通の思い。学校や習い事は違った学びができる、学校でも家でもない第3の居場所を子どもたちに提供したいです」と大野さん。「子ども教室の立ち上げは、団体運営の経験もノウハウもなく最初は不安でしたが、他団体や区役所の担当の方々などに協力していただいたおかげで、順調に準備することができました。今後は田道小学校の子どもたちに関わるさまざまな方々と、地域ぐるみで連携していきたいと思っています」と語ってくれました。